

## 平成19年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会

日時：平成19年9月12日（水） 15:00～17:00

場所：厚生労働省専用第18～20会議室（17階）

### 議 事 次 第

1. 再入院率の高い医療機関へのヒアリングについて
2. その他

診調組 D-1  
19. 9. 12

診調組 D-1  
19. 8. 6

## 平成19年度DPC評価分科会における特別調査について

### 1 平成19年度再入院調査について

- 本年5月16日の中医協基本問題小委員会において、平成19年度のDPC調査については、昨年度と同様に再入院に係る調査について、本体調査とは別に行うこととされた。再入院調査については、これまで化学療法に代表される計画的な再入院と疾病の急性増悪のような予期せぬ再入院等を合わせて調査してきたところである。
- 計画的再入院の中では再入院までの期間が15日以上28日未満のものが最も増加傾向にある一方で、減少傾向にあるものの再入院までの期間が3日以内の再入院も依然として認められる。
- これらを踏まえ、今年度の調査では短期間の再入院について、新たな算定ルールの構築を目的にヒアリングを中心に調査・検討を行ってはどうか。
  - \* 具体的には、3日以内の同一疾患の再入院については、入院期間を初回の入院日からの起算とする、新たな算定ルールを次期改定に向けて検討する。また、4～7日以内の再入院についても、同様の算定ルールが適当であるのか調査・検討する。
- また、再入院の動向を把握するために昨年度と同様の調査を行うとともに、DPC 準備病院には一般病床以外の病床(例:療養病床)も有するような、多様な形態の病院が増えてきていることから、再入院と同様の算定方法となり得る転棟についても調査・検討することとしてはどうか。

### 調査方法

- 1) 短期間の再入院については、平成18年度調査データから一定の基準で選んだ医療機関からヒアリング調査を行うこととする。
- ヒアリングに当たっては、短期間の再入院率が高い医療機関を化学療法に係る再入院とそれ以外の再入院を区別した上で選出し、再入院症例に関する調査票を8月上旬に配布・回収する。
  - 調査票をとりまとめた後、平成18年度調査の結果を踏まえて、調査票の配布の対象となった医療機関のうち、数医療機関を当該分科会に招集してヒアリングを実施する。

- 2) 再入院の動向については、昨年度と同様に再入院症例について、来年1月末に調査票を配布・集計して、経年変化を分析する。本年度においては、複数回の転棟により再入院と同様の算定となった患者等(例:一般病床→その他の病床→一般病床)にも調査票を配布することとする。

## 2 適切な診療報酬の請求について

### 概要

DPCにおいては、最も医療資源を投入した傷病名から、実施した手術や処置、また副傷病や重傷度によって1つの診断群分類を決定して診療報酬の請求を行うが、診断群分類の決定が正しく行われていない場合も認められるとの指摘がある。DPCの適切な算定ルールの構築のため、当該分科会においても正しく診断群分類が決定されているのか、ヒアリングを実施して検証してはどうか。

### 調査方法

平成18年度調査により得られたデータから、以下に該当する医療機関に調査票を配布し、その中の数医療機関を当該分科会に招集し、ヒアリングを実施する。

- ① 主要な診断群分類について、1日当たりの包括範囲出来高点数の当該医療機関平均が全体の平均に比べて、著しく低い医療機関
- ② 主要な診断群分類について、当該医療機関の平均在院日数が全体の平均より著しく短い医療機関
- ③ 特定の診断群分類における症例数の変化が大きい医療機関
- ④ 手術を実施した症例において、実施した手術の診療科と最も医療資源を投入した傷病名の診療科が異なる症例が多い医療機関

## 3 その他

- 上記以外にも算定ルールの構築や施設特性を適切に評価する仕組みを構築するための調査が必要な場合は、当該分科会に提案して特別調査を実施することとする。

平成19年度DPC評価分科会における特別調査について（再入院率）  
概 要

1 目的

中医協診療報酬基本問題小委員会においては、DPC導入による医療の質等について継続的に注視することが必要であると指摘がなされてきたところ、中医協診療報酬調査専門組織DPC評価分科会において意見交換（ヒアリング）の機会を設け、実態を把握するための参考として当該調査を実施した。調査結果のうち、再入院率に係る項目についてとりまとめた。

2 調査方法等

(1) アンケート調査について

平成18年度DPC調査データ（平成18年7月1日から10月31日までの退院患者調査）より7日以内の再入院率が5%以上（28件）又は3日以内の再入院率が2%以上（17件）に該当する合計38病院（重複7件）に対して、自由記載方法により再入院率が高い理由についてアンケート調査を実施した。

病院分類	調査対象病院数	回答病院数	回答率
平成15年度対象病院	5	5	100%
平成16年度対象病院	5	5	100%
平成18年度対象病院	9	9	100%
平成18年度準備病院	19	19	100%
合計	38	38	100%

(2) ヒアリングについて

上記の38病院のうち、3日以内再入院率、4～7日以内再入院率及び化学療法等の有無等により、6医療機関をヒアリング対象として選出した。

3 調査結果

(1) アンケート調査による主な再入院の理由について

1) 化学療法による再入院

- ・ 特に weekly chemotherapy で1週間毎に投与するケース  
肺癌、卵巣癌、乳癌、大腸癌などに対し、1泊2日で投与して退院し、翌週も同様の再入院を繰り返す。
- ・ 3週間程度かかる化学療法のレジメでも1クールごとに退院し、1週間以内に再入院して次のクールを行う。

2) 検査入院を行い、異常が認められるため治療目的で再入院

- ・ 特に入院での心臓カテーテル検査後、数日後にインターベンション目的で再入院
- ・ 睡眠時無呼吸発作の検査入院後にCPAP導入目的で再入院などのケース

- 3) 術前検査入院（主に画像診断）を行い、手術日まで一時退院し、手術直前に再入院
    - ・ 外科手術前の術前検査を入院で行い、手術日まで日にちが空いているため。
  - 4) 白内障の手術を片眼で2回に分けて実施するための再入院
  - 5) 術前処置を入院して行い、一時退院して手術のために再入院
    - ・ 特に糖尿病患者に対する術前の血糖コントロールの目的で入院し、一度退院して手術前に再入院
  - 6) 自院で行えない治療を実施するために一時退院して、他院で受療後に再入院
    - ・ 最も多いのは放射線治療（γナイフ）による一時退院
    - ・ PETを他院で行うため一時退院
  - 7) 患者のQOLのため治療が一区切りついたら一度退院
    - ・ 特に疾患を問わず（化学療法も含む）、患者のQOLの向上及び気持ちの切り替えのため
  - 8) 週末の救急搬送用に空床を確保するため
  - 9) 系列の老健施設などからの急性増悪による搬送に伴う再入院
- (2) ヒアリング医療機関別3日以内及び4～7日以内の再入院について  
別紙参照

## (2) ヒアリング医療機関別3日以内及び4～7日以内の再入院について

医療機関名	病床種別・数	施設類型	のべ入院 件数	3日以内再入院						4～7日以内再入院					
				全数			化学療法等を実施しているもの			全数			化学療法等を実施している		
				再入院件数	全数に対 する率	参考:当該 施設類型に おける平均 再入院率	再入院件数	全数に対 する率	参考:当該施 設類型にお ける平均再 入院率	再入院件数	全数に対 する率	参考:当該施 設類型にお ける平均再入院 率	再入院件数	全数に対 する率	参考:当該施 設類型にお ける平均再入院 率
佐世保市立総合病院	一般 570床 結核 20床 感染症 4床	平成18年度DPC対象病院	3,484	167	4.8%	0.9%	100	2.9%	0.1%	135	3.9%	1.8%	84	2.4%	0.5%
財団法人慈愛会 今村病院	一般 165床	平成18年度DPC対象病院	1,126	28	2.5%	0.9%	2	0.2%	0.1%	33	2.9%	1.8%	18	1.6%	0.5%
旭川赤十字病院	一般 587床 精神 70床	平成18年度DPC対象病院	3,499	83	2.4%	0.9%	22	0.6%	0.1%	162	4.6%	1.8%	85	2.4%	0.5%
社団法人鹿児島共済会 南風病院	一般 338床	平成18年度DPC対象病院	2,309	42	1.8%	0.9%	3	0.1%	0.1%	199	8.6%	1.8%	164	7.1%	0.5%
医療法人蒼龍会 井上病院	一般 127床	平成16年度DPC対象病院	614	13	2.1%	0.9%	0	0.0%	0.1%	19	3.1%	2.0%	0	0.0%	0.6%
社会福祉法人恩賜財団 埼玉県済生会川口総合病院	一般 380床 結核 20床	平成18年度DPC対象病院	2,924	67	2.3%	0.9%	24	0.8%	0.1%	51	1.7%	1.8%	8	0.3%	0.5%

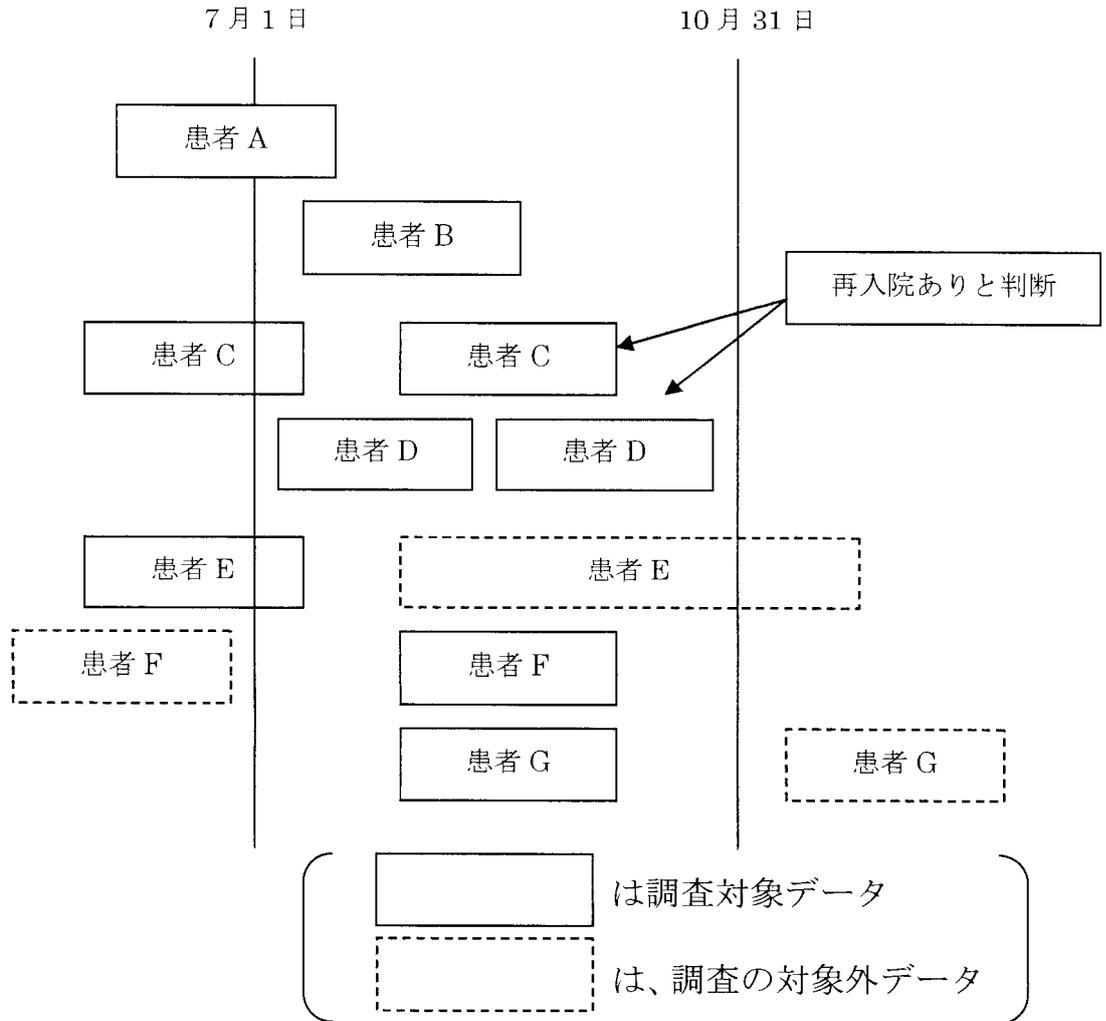
※ 平成18年度 DPC調査データより抽出

※ 病床種別・数はWAMNET(平成19年8月末時点)より抽出

## 再入院の取扱いについて

(1) 再入院率について

調査期間中に収集したデータ(7月～10月の4ヶ月間の退院患者)について、データ識別番号の重複があり、前回退院日から今回入院開始日までの期間が6週間以内であるものを再入院ありと判断。



$$\text{再入院率} = \frac{\text{再入院ありと判断されたデータ数} \quad 2}{\text{のべ入院データ数} \quad 9} = \frac{2}{9}$$

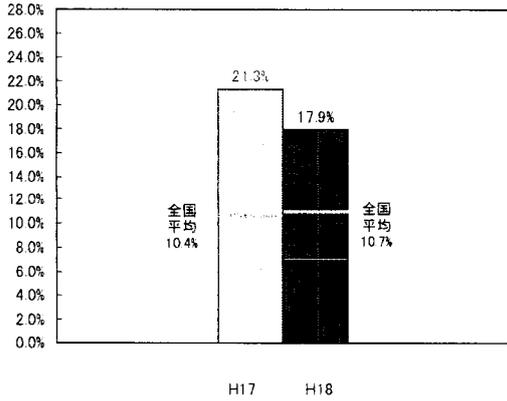
(2) 3日以内再入院率について

上記の再入院のうち、前回退院日から今回入院開始日までの期間が3日以内のもの。

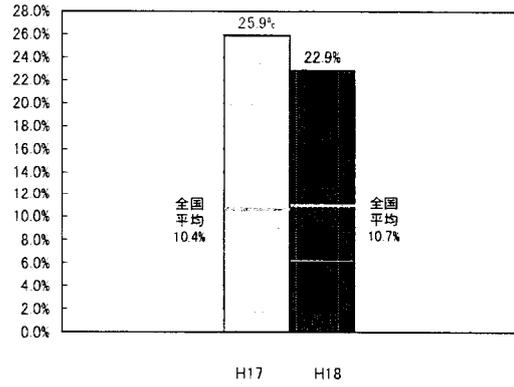
(3) 4～7日以内再入院率について

上記の再入院のうち、前回退院日から今回入院開始日までの期間が4～7日あるもの。

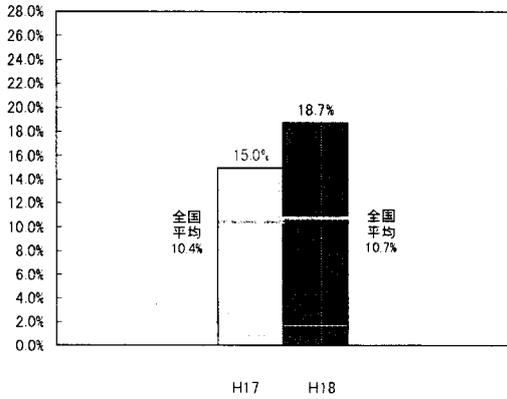
1. 佐世保市立総合病院



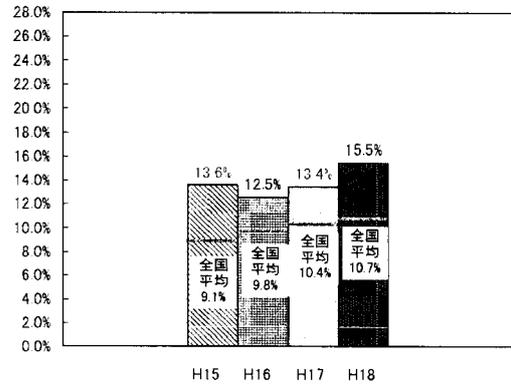
4. 社団法人鹿児島共済会 南風病院



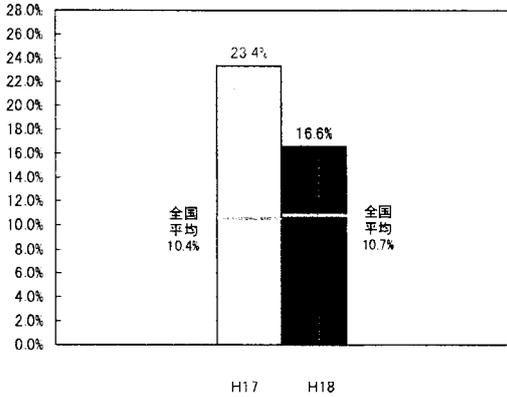
2. 財団法人 慈愛会 今村病院



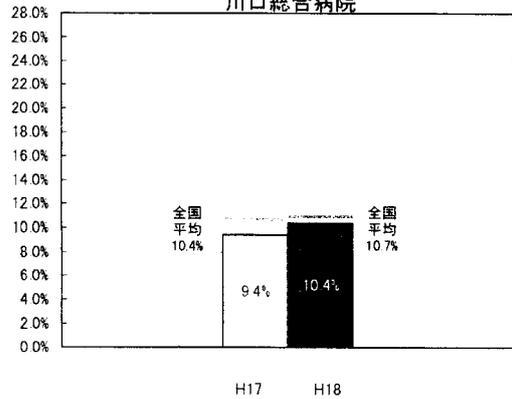
5. 医療法人蒼龍会井上病院



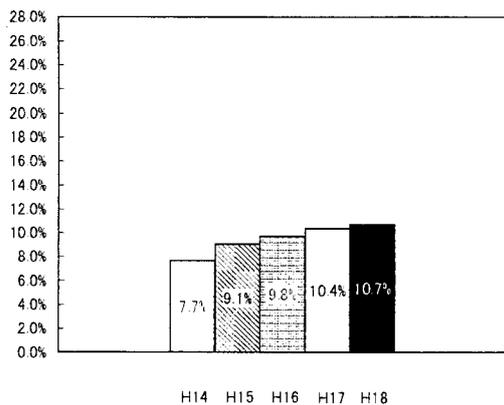
3. 旭川赤十字病院



6. 社会福祉法人恩賜財団埼玉県済生会 川口総合病院

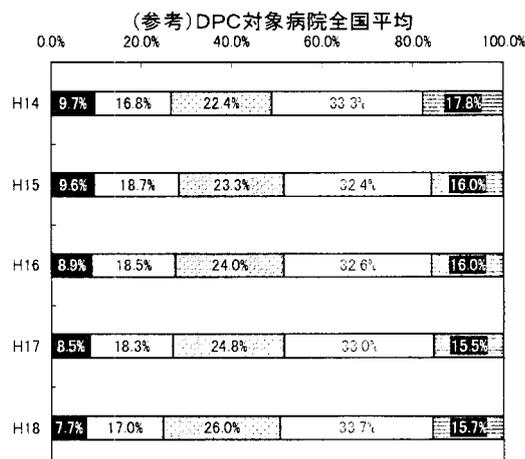
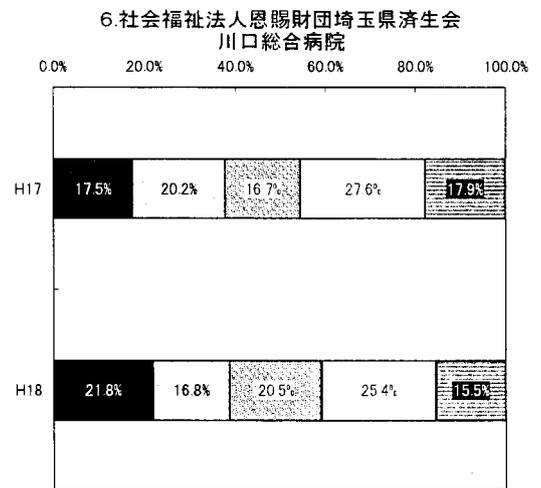
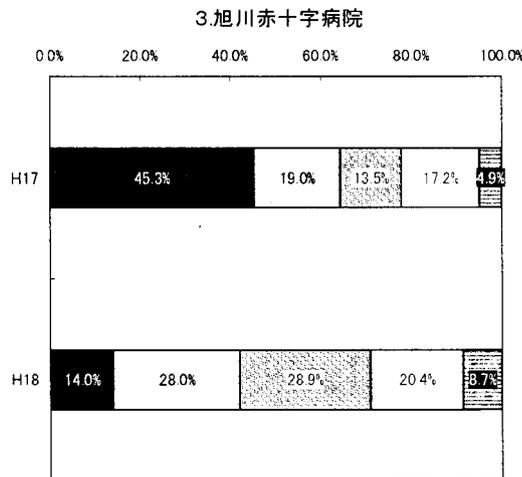
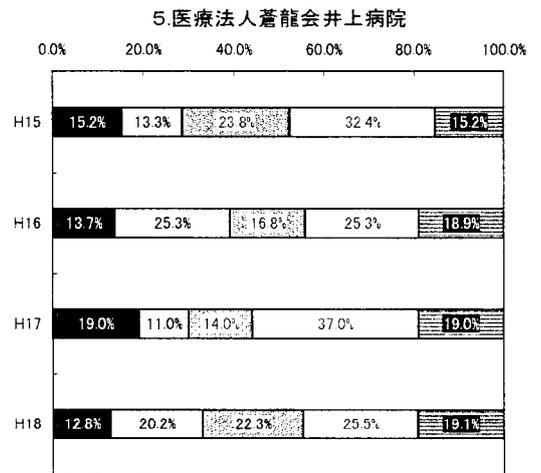
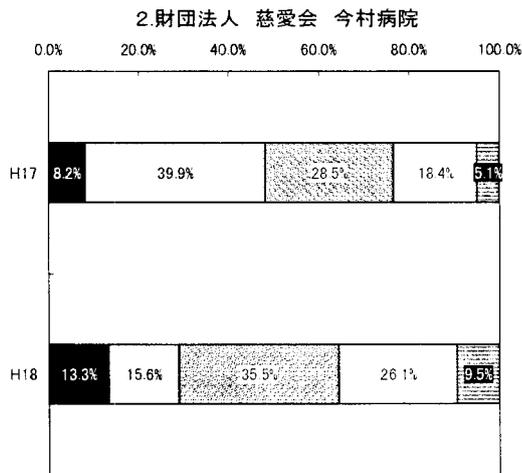
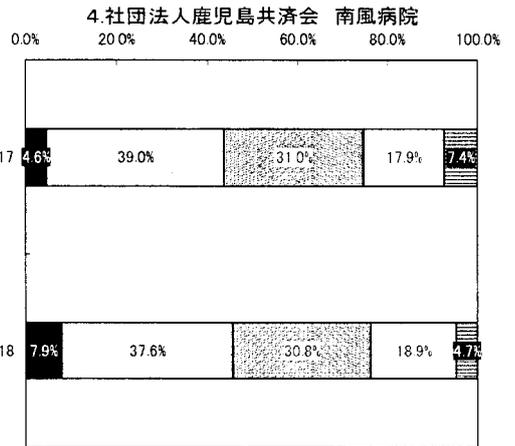
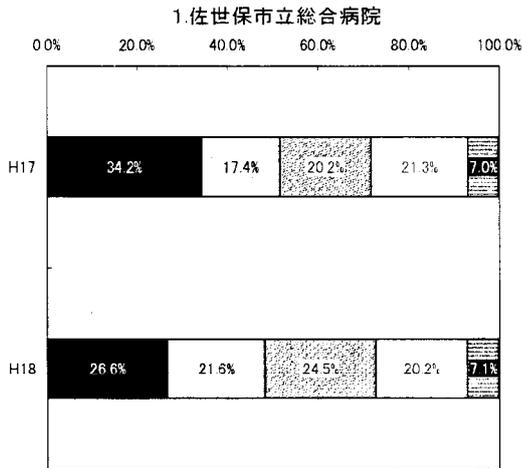


(参考)DPC対象病院全国平均



注)再入院は当該期間で再入院までの期間が6週間までのもの

前回再入院からの期間別・再入院割合



- 3日以内
- 4日～7日以内
- 8日～14日以内
- 15日～28日以内
- 29日～42日以内